

二小の風

学校通信

平成31年1月7日

1月号

天理市立二階堂小学校

文責 北野 博康

<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>



あけまして おめでとう ございます — 新しい気持ちでスタート! —

穏やかな気候の中、平成最後の新年を迎えました。

旧年中は、本校の教育活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

さて、学校のお正月は4月ですが、それでも新しい年を迎えるお正月は、何か気持ちが新たになります。少し怠けていたこともリセットして再スタートを切れるいい機会だと思います。昔から『一年の計は元旦にあり』と言われていますが、何かを始めようとするには、新年の幕開けから始めていきたいものです。

今年は、亥年（いとし）です。猪突猛進（ちよとつもうしん）という言葉どおり、しっかり目標を立てて、まっしぐらに突き進んでほしいです。

私も年男ですので、子ども達に負けないうにがんばっていきます。



3学期は次の学年への準備期間

右の「51」と「52」という数字は何でしょう。

実は、この「51」は、卒業までに6年生が登校できる日数で、「52」は、1年生から5年生が3学期に登校できる日数になります。

6年生にとっては、3学期は、小学校生活最後の学期となり、中学生になるための準備期間となります。もうひとがんばりして、みんなが自信をつけて、中学校へ進学してほしいと思います。6年生にとっては、これからはますます何をすることも、「小学校生活最後の〇〇〇」という思いが強くなると思います。

また、在校生にとっても、次の学年に向けて準備をする期間です。特に5年生は、最高学年の心構えを作る時期で、しっかりと6年生からバトンを受け継いでいってほしいです。

あきらめない心で続ける

昨年12月に佐野有美さんの講演を聞かせていただきました。28歳の佐野さんは、生まれつき両腕と両脚がなく、あるのは3本指の短い左足だけです。

しかし、特別な子ではなく、小さい頃からみんながすることを当たり前にしたくて挑戦してきたそうです。小学生で水泳で100mを泳ぎ、三本の足の指で電動の車いすのレバーを操作して日本全国に出かけ、ペンを

51

52

握り、年頃になると化粧をし、結婚すると足の指に包丁を握らせて料理もされるそうです。スマホやパソコンも足の指で操作し、執筆活動や作詞をして歌まで歌われています。もちろんできないことは、近くにいる人に協力を求めるそうです。

それでも何時間もかけて調理や化粧をしていたのが、あきらめないで毎日続けると、今は短い時間で上手にできるようになったそうです。

佐野さんは、最後に目標をもつこと、その目標に向かって、あきらめずに続けて取り組むことが大切だと語っていただきました。私は、そのことを子ども達にも伝えたくて始業式の話にしました。

手作り注連縄づくり-3年生-

3学期に昔のくらしを学習する3年生が、冬休み前にゲストティーチャーをお招きして、手作り注連縄（しめなわ）リースづくりに挑戦しました。

用意していただいたもち藁を3人一組になって、ねじりながら縄をなっています。そして、それを丸く輪にしたところへ縁起物の飾り物をつけて完成です。

おそらく3年生のご家庭では、その注連縄を飾って新年を迎えたことでしょう。



